

Dohoku  
Nayoro



2017  
No.37

平成29年1月1日

広報



道北なよろ



新年号



## 新年を迎えて

代表理事組合長 中島道昭

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と存じ、謹んでお慶びを申し上げます。

また、旧年中は、農協事業への御支援と御協力に際し、格別のご高配を賜りました事、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年の作況を振り返りますと、春の融雪が順調に進み、作業も順調なスタートを切る事ができ、その後も天候に恵まれました。然しながら、8月に入ると北海道各地において今までに経験のないような台風が続き、それに伴う大雨の影響により全道各地に甚大な被害をもたらす結果となりました。当JA管内においても一部、冠水・農作物の流出等の被害があるなど大変ご苦労の多い年でありました。

今年の収穫量は、全品目において平年並み、又は平年以上の収量となり、販売高についても、計画を上回る結果となりました。これもひとえに、組合員の皆さまの日々のご努力、そしてJAへのご協力・結集の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

平成28年の農業情勢は、過年より続く農協改革論議が依然として続いており、規制改革会議を皮切りに、JAグループの在り方について国会においても論議がなされ、JAグループに対する理解が乏しい中、農協法改正に踏み切られ、改正農協法が施行となる経過となりました。

さらに11月には、「農協改革に関する意見」という文書を出し、農業の現場では再び混乱と反発が広がり、この「意見」では、購買事業の抜本的見直し、委託販売の廃止、クミカンの廃止、地域農協の信用事業の農林中金等への譲渡など、民間組織であるJAの事業内容の大幅な変更を迫るものであり、本来の役割を逸脱した乱暴な内容と言わざるを得ません。

協同組合の共同販売、共同購入は、個々では交渉力が弱い農家や単協が共同することで価格交渉を有利にすることを目的とし、長い歴史のなかで築きあげてきたものであるが、今回の提言はこの重要な機能を削ごうとするものであり、農協法改正以降の自己改革の努力を否定しかねないような過激なも

のであり、断固としてそのまま受け入れることはできません。

昨年のJA大会において、規制改革実施における自己改革を求められたことを受け、「組合員の所得向上や地域の活性化」に向けた「改革プラン」を策定し、収益向上・担い手確保・組合員の経営サポート・農業の魅力発信などの取り組みを掲げ、実践プランを構築し取り組んでおります。この改革プランを加速・具体化させるため、北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村づくり」に組織を挙げて取り組み全道民550万人を対象に「食と農でつながる仲間づくり」運動を展開し、農業やJAを理解し、利用し、一緒に考え、行動してもらえらるサポートづくりを目指すなど、農業構造の変化に対応した農協改革は今後も必要であり、特に営農指導のレベルアップと農政運動の再構築が必要だと思われまます。その改革は政府に指示されて行うものではなく、組合員の意向を受けJA自らが自己改革として進むべき事と考えております。

農業経済と農協を取り巻く環境が、今後どのように変化していくのか、今なお不透明ではありますが、私どもは今後とも注意を払いながら、国の農業農協政策を見守って参ります。そこで問題ある時は、組織を挙げて立ち向かい、また、農民の誇りを次世代につな

げ若者達が安心して営農を続けられるよう、協同組合組織基盤の強化に努めて参ります。

平成29年度は、第三次地域農業振興計画の反省を踏まえ、「第四次地域農業振興計画・第四次中期経営計画」に向けた立案の年であり、基本的には減少するであろう農家戸数、地域農業の10年後の姿を目標に見据え、本年度以降、重点振興作物をさらに推し進め、地域農業のブランド化、安全安心な農産物の構築、組合員の所得向上、担い手の確保、施設整備を含めた農協健全経営に向けた第四次振興計画を目指し組合員の利便性と組合員との協議の場等ふれあいを多く思考しながら今後、地域農業の発展に努めて参りたいと思えます。

今年の干支は酉年（とりどし）です。一説には、酉は「安定する」という意味があり、植物が成長し一定の大きさに達して（安定して）きた状態、そして果実が成熟の極限に達した状態をさすとあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となるよう組合員並びにご家族皆様が、ご健康で明るく希望に満ちた年でありませう、心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



## 平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものとお心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところとす。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

す。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているとす。

昨年はJAグループ北海道の実

践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を

克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら自己改革を加速させ、長年にわたる先人が築き上げてきた北海道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるように努力して参ります。

結びになります。今年のご干支は丁酉（ひのと）です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのこととあります。

今年、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



## 年頭のご挨拶

代表理事専務 東野 秀 樹

新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様方におかれまして  
は清々しい平成29年新春をご家族  
お揃いで、健やかに迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

常日頃より、地域農業の振興な  
らびに地域コミュニティの醸成  
にと、ご尽力頂いておりますこと  
に敬意を表するとともに、当農協  
各種事業に対し特段のご理解をい  
ただいておりますこと心から感謝  
申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の  
融雪も順調で畑の開墾作業も順調  
なスタートを切ることが出来まし  
た。

しかしながら、春先の局地的な  
降雪・3度にもわたる8月の大風  
による集中豪雨・そして10月末か  
らの大雪と組合員の皆さんに於い  
ては、非常にご苦労の多い一年で  
はなかったかと思えます。被害に  
遭われた方に於いては改めてお見  
舞いを申し上げます。

このように異常な気象の一年で

ありましたが、組合員の皆さんの  
日頃の努力や、関係機関の熱心な  
ご指導による栽培技術の研鑽の  
お蔭で、道内の各産地が大幅に減  
収している中、当農協に於いては  
多くの品目で平年作以上を確保  
して頂きました。

加えて青果物に於いては、全国  
的な作付け減少に伴う品薄感と道  
内産地の悪天候による不作感の影  
響で一部品目を除き、高値の傾向  
が続いたことで、年度当初計画額  
を達成することが出来ました。

畜産に於いても、高齢による離  
農で地域全体の飼養頭数が減少す  
る中ではあります。それぞれ  
個々の組合員さんの経営努力によ  
り本年計画を上まわる実績をあげ  
て頂きました。改めて、今年一年  
の皆様のご努力は元より、長年に  
渡り築いてこられた高い品質を維  
持する生産組織活動に、敬意と感  
謝を申し上げます。

昨年の11月に当農協青年部の創  
立10周年記念式典がありました。  
合併当初は120名程度の盟友数

でありましたが、現在に至っては  
138名と、様々な青年組織がど  
んどん縮小している中、当農協青  
年部は少しずつではありますが増  
加しております。

これは、全道的或いは全国的に  
みても非常に優良な事例だと思  
います。

後継者不足と言われる昨今では  
ありますが、改めて名寄地域の農  
業青年達の活躍やそのパワフルさ  
に敬意を表すと共に将来に向けて  
頼もしさを感じております。

行政・農業委員会・農協がそれ  
ぞれ後継者対策などを、知恵をし  
ばり対策を練っておりますがなか  
なか決定打にたどり着けない中、  
青年部・女性部の皆さんが地域で  
活発に生き活きと活動しているこ  
とそのものが、外に出た同世代の  
若者たちにも大きな影響を与えて  
いると私自身は感じております。

今後も日本人の食糧を預かる  
『誇り』と、地域を守り盛り上げ  
る『志』を持ち続けて頂き、今ま  
で以上に私共々、外にもどんだん  
発信していただきたく願ってお  
ります。

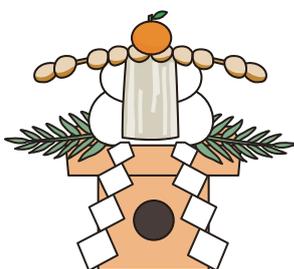
早いもので第3次中期経営計画  
も最終年度の5年目を迎え、本年  
は、第4次計画の策定年としてお  
りますが、この中でも山積した諸

課題に向けた対策や、各生産部会  
活動・青年部・女性部の活発な活  
動が継続できるよう支援策など、  
行政や関係機関と連携してしっか  
りと取り組んで参ります。

今後とも組合員皆様とともに役  
職員一丸となつて、将来を見据え  
た地域農業・農協のあるべき姿を  
築き上げられるよう努力して参り  
ます。

組合員皆様に於かれまして、  
尚一層のご協力・ご指導賜ります  
ようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、ご健  
勝で実り多い一年でありますよう  
ご祈念申し上げます。ご挨拶と致  
します。





## 年頭のご挨拶

常務理事 近藤 文隆

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると4月の熊本地震をはじめとして自然の驚異を感じた一年でありました。特に8月に集中して複数の台風が北海道を上陸し、各地に大きな被害を与えました。また、融けると思っていた10月末の雪が根雪となりました。先輩の皆様にお聞きすると「こんなことは経験したことがない。」という言葉でした。ここ数年の北海道の気象を振り返ると温暖化などの影響でしょうか、気候が変化していることをまずは理解しなければならぬと感じた年でした。台風による冠水被害、また雪害により農産物収穫ができなかった皆様には心よりお見舞い申し上げます。そのような中ではありますが販売取扱高87億円を見込んでおります。このことは組合員の皆さんの営農

に対する研鑽と努力、さらには農協に対するご理解、ご協力の賜物と深く敬意と感謝を申し上げます。

一方、国内外も農政を中心として大きく動いた一年でもありました。2月に12ヶ国署名にはじまったTPPは、反対していたトランプ氏が次期アメリカ大統領に決つたにもかかわらず衆参本会議において関連法案が承認されました。トランプ氏は自由貿易を目指すTPPとは異なり保護貿易主義を掲げおります。彼はTPPではなく二国間FTAなどを訴えており、来年1月の大統領就任後は日本に対し厳しいことを求めてくるものと予想されます。

次に農協改革です。規制改革会議・農業ワーキンググループより委託販売から買い取り販売への販売体制の見直し、クミカン廃止、信用事業の譲渡促進などが求められました。このことは当初求めていた農地問題などの農業改革をなおざりにして農協の実態の検証のないまま公表されたものであり、

安心・安全な農畜産物の生産に努力している組合員を無視したものだと思っております。系統連合会等の中央要請等により一部文面が削除されましたが、今後も予断を許さない厳しい求めがあるかと思えます。

このような一年でありましたが、今後とも各関係機関と連携を取りながら組合員の生活と営農を守るために取り組んで参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年は酉年です。もともと酒ツボを意味し収穫した果実(作物)から酒を造る行為から作物が「実る」ことも表していると聞きます。是非とも本年が穏やかな気候で豊穰の一年でありますよう、また組合員の皆様のご健勝、ご多幸であることをお祈り申し上げます。





## 年頭のご挨拶

上川農業改良普及センター名寄支所

支所長 葛西 伸行

新年明けましておめでとうございませす。平成29年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から農業改良普及事業へご理解とご協力を戴いていること、心から感謝申し上げます。

昨年は、融雪が比較的早く進みその後の天候にも恵まれ、春作業は順調に進みました。しかし、5月31日には降雪があり、6月は低温日照不足(長雨)の影響で各作物の生育が停滞しました。8月には益明けから3つの台風が北海道に上陸し、さらに30日には台風10号が接近するなど大雨と暴風により一部河川では氾濫するなどし、冠水・倒伏などの被害がありました。また、10月29日には降雪があり根雪始めが最早になるなど、気象変動が大きい年でした。被害に遭われた皆様には改めてお見舞い申し上げます。

水稲の作況指数は、全道・上川管内ともに「102」となりました。名寄市のもち米については、くず米がやや多く実感としてはや

や物足りない印象がありました。が、平年収量を確保できたことで6年連続の豊作基調となりました。

畑作では、小麦(秋まき、春まき)で平年並の収量確保ができました。近隣では新たな病害の発生も報告されています。小麦なまぐさ黒穂病は名寄市での発生は確認されていませんが発生地域が拡大しており上川管内でも被害が見られています。かびによる病害で、病穂は生臭い悪臭を放ち品質が低下します。汚染された農産物が乾燥調整施設に混入すると施設全体の汚染となり被害が甚大となるため、特に注意が必要です。

ばれいしょは一部で腐敗が発生し、小玉傾向でしたが収量は平年並みでした。大豆では、降雪の影響で収穫できなかった圃場もありました。てん菜は、収量・根中糖分とも平年並みでした。

園芸作物では、降雪や台風による大雨・暴風の影響を受け、かぼちゃで浸水による腐敗や細菌性病害の発生があり、スイートコーン

では倒伏により一部の作型で収穫作業に影響ができました。アスパラガスでは5月の少雨や雹害、6月の日照不足により若莖の萌芽、伸長が緩慢となり出荷量は例年を下回りました。また、薬用植物の「カノソウ」や「寒締めほうれんそう」栽培などで組織的な取組みが本格化するなど、新しい動きもありました。園芸作物全体では市況が堅調であったこともあり、まずまずの結果となりました。

酪農では、牧草の収量は平年並みを確保できましたが、サイレージ用とうもろこしは、生育の圃場間差が大きく収量は平年を下回りました。また、生乳生産は、全道的に前年並の状況で名寄市は微減でした。

気象変動が大きい中、ほぼ平年並の結果を残すことができたことは、皆様の日頃からの営農努力の賜と改めて敬意を表するところで。今後も気象変動に強い農業基盤づくりのため、圃場等の整備を進め(土壌物理性・化学性の改善や透水性改善など)生産性の高い圃場づくりへ向けた取組強化をお願いいたします。

普及センターは、地域にある課題解決のため、職員の知恵と行動力を結集し、関係機関と連携しな

から、全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお見舞い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちたよき年となり、豊穰の秋を迎えることができよう心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 謹賀新年

平成二十九年元旦

## 道北なよろ農業協同組合

代表理事組合長	中島道昭	理事(営農)	尾崎正和
代表理事専務	東野秀樹	理事(購買)	鷲見悦朗
常務理事	近藤文隆	理事(購買)	大久保裕司
総務委員長	清水清隆	代表監事(常勤)	清水秀満
営農委員長	村上清	監事	鷲田友貴
購買委員長	小川和則	監事	金子孝雄
理事(営農)	中村耕司	監事	坂本悟
理事(総務)	清水和彦		
理事(営農)	米澤俊一		
理事(購買)	山崎一浩		
理事(購買)	伊東浩次		
理事(総務)	宗万利行		
理事(営農)	小泉博志		

## 道北なよろ農業協同組合

◆ 参事	中村 静男	◆ 総合企画課長 (兼)総務課長	林 龍一
◆ 監査室長	合田 政行	◆ 金融課長	野原 格子
◆ 総務部長	野崎 芳裕	◆ 審査課長	宗片 浩樹
◆ 金融共済部長	寺田 勝志	◆ 共済課長	中山 勝憲
◆ 営農部長	筒井 尚哉	◆ 営農課長	井上 誠
◆ 販売部部長 兼営農センター長	石山 健一	◆ 農産課長	仁木 康裕
◆ 購買部長	又村 明仁	◆ 購買課長	佐々木拓也
◆ 営農センター次長 兼青果課長	斉藤 宏治	◆ 燃料課長	舟山 利昭
◆ 販売部次長	佐藤 昌規	◆ 農機車輛課長	枝 豊治
◆ 名寄支所長	米村 敏明	◆ 営農課長 (営農センター)	安達 秀一
◆ 智恵文支所長	奥山 克志	◆ 営業戦略課長	藤原 武憲
		◆ 畜産課長	齊藤 祐次
		◆ 金融共済課長 (名寄支所)	多田 義明
		◆ 購買課長	高橋 邦彦
		◆ 金融共済課長 (智恵文支所)	秋葉 哲哉
		◆ 購買課長	大塚 敏弘

# 迎春

平成二十九年元旦

## JA道北なよろ青年部

部長 山口耕平  
副部長 中川陽介  
〃 島井勝久

## JA道北なよろ女性部

部長 上口里美  
副部長 柿川美枝  
〃 副部長 矢吹祐子

## 葉菜部会

部長 越石孝則  
副部長 大石一貴

## 南瓜部会

部長 桶谷政進  
副部長 南原裕二

## グリーンアスパラ部会

部長 松本和俊  
副部長 吉田康治

## ピーマン部会

部長 川合孝法  
副部長 我妻昌幸

## トマト部会

部長 斉藤 勲  
副部長 松本 勲

## ピヤシリアスpara研究会

会長 松下良行  
副会長 清水清隆

## なよろ星空雪見法蓮草生産組合

部長 神田 勇一郎  
副部長 金子孝雄

## 食用馬鈴薯生産部会

部長 岩崎 隆  
副部長 木之内 薫

## 加工馬鈴薯部会

部長 五十嵐 真吾  
副部長 佐藤 幸一

## 智恵文種馬鈴薯部会

会長 佐久間 博之  
副会長 山本 恵

## コーン・馬鈴薯機械利用組合

部長 遠藤 貴広  
副部長 山田和邦

## 名寄市乳牛検定組合

部長 池田 大介  
副部長 平間 大介

## JA道北なよろ

外国人技能実習生受入協議会  
会長 木之内 薫  
副会長 佐藤 幸一

## 名寄市もち米生産組合

部長 神田 勇一郎  
副部長 村中 洋一  
〃 副部長 桶谷 進

## 風連支部

部長 神田 勇一郎  
副部長 桶谷 進  
書記 及川 友和

## 名寄支部

部長 村中 洋一  
副部長 水間 健詞  
〃 副部長 今田 正志

## うるち米生産組合

部長 今村 芳彦  
副部長 安達 啓治

## JA道北なよろ酪農部会

部長 佐藤 信明  
副部長 大村 一秋  
〃 副部長 竹村 敦

## JA道北なよろ青年部

部長 佐藤 慶三  
副部長 林 慶三  
〃 副部長 林 慶三

## 名寄支部

部長 花井 信雄  
副部長 斉藤 広剛  
〃 副部長 山本 慎二

## 智恵文支部

部長 大石 一貴  
副部長 南原 一幾  
副部長 飯塚 勝也

## JA道北なよろ女性部

部長 上口里美  
副部長 矢吹祐子  
〃 副部長 遠藤 美子

## 虹の会

会長 中野 寿子  
副会長 中村 洋子

## JA道北なよろ女性部

代表 大石 美由紀  
副代表 遠藤 円

## 花き生産組合

部長 阿部 和浩  
副部長 越智 昭男

## 西瓜・苺・メロン部会

部長 石谷 邦明  
副部長 佐竹 直人

## コーン菜組合

部長 武田 修一  
副部長 清水 拓馬

## 玉葱部会

部長 寺田 勝利  
副部長 橋本 弘利

## 百合根部会

部長 後藤 俊忠  
副部長 広島 俊一

## 葉菜部会

部長 越石 孝則  
副部長 大石 一貴

## 南瓜部会

部長 桶谷 政進  
副部長 南原 裕二

## グリーンアスパラ部会

部長 松本 和俊  
副部長 吉田 康治

## ピーマン部会

部長 川合 孝法  
副部長 我妻 昌幸

## トマト部会

部長 斉藤 勲  
副部長 松本 勲

## ピヤシリアスpara研究会

会長 松下 良行  
副会長 清水 清隆

## なよろ星空雪見法蓮草生産組合

部長 神田 勇一郎  
副部長 金子 孝雄

## 食用馬鈴薯生産部会

部長 岩崎 隆  
副部長 木之内 薫

## 加工馬鈴薯部会

部長 五十嵐 真吾  
副部長 佐藤 幸一

## 智恵文種馬鈴薯部会

会長 佐久間 博之  
副会長 山本 恵

## コーン・馬鈴薯機械利用組合

部長 遠藤 貴広  
副部長 山田和邦

## 名寄市乳牛検定組合

部長 池田 大介  
副部長 平間 大介

## JA道北なよろ

外国人技能実習生受入協議会  
会長 木之内 薫  
副会長 佐藤 幸一

## 名寄市もち米生産組合

部長 神田 勇一郎  
副部長 村中 洋一  
〃 副部長 桶谷 進

## 風連支部

部長 神田 勇一郎  
副部長 桶谷 進  
書記 及川 友和

## 名寄支部

部長 村中 洋一  
副部長 水間 健詞  
〃 副部長 今田 正志

## うるち米生産組合

部長 今村 芳彦  
副部長 安達 啓治

## JA道北なよろ酪農部会

部長 佐藤 信明  
副部長 大村 一秋  
〃 副部長 竹村 敦

JA道北なよろ畜肉部会

部長 鈴木 正  
副部長 沖沢 実

風連町農業青色申告会

会長 山田 敏之  
副会長 日野 勇一  
〃 石谷 邦明

名寄地域ICT農業研究会

会長 清水 功裕  
副会長 藤森 将二  
〃 佐竹 直人

道北なよろ酪農ヘルパー

利用組合

組合長 尾関 章一  
副組合長 水間 博文  
〃 黒嶋 和幸

名寄市農業青色申告会

会長 横山 巖  
副会長 宗万 利雄  
事務局長 花井 信行

風連町酪農振興会

会長 大村 一秋  
副会長 佐藤 文博

風連町農民連盟

委員長 佐藤 政昭  
副委員長 中川 昌文  
書記長 本瀬 克博  
書記次長 岡田 裕樹

風連馬事振興会

会長 渡辺 孝  
副会長 山崎 吉晴

名寄農民連盟

委員長 岡元 政美  
副委員長 林元 哲央  
書記長 東海 伸演  
書記次長 花井 信雄

JA道北なよろ利用者年金友の会

会長 安達 住義  
副会長 桶谷 繁志  
〃 柴田 幹造

智恵文農民連盟

委員長 島田 敏朗  
副委員長 菊地 守彦  
書記長 阿部 公守  
書記次長 松下 彦守

JA道北なよろ智恵文支所年金友の会

会長 川辺 義幸  
副会長 木之内 與

風連町農業家屋火災共済組合

委員長 遊佐 俊充  
委員長代理 堀江 英一

風連町農民連盟青年部

委員長 藤垣 修  
副委員長 杉野 亮  
書記長 菊池 亮



表紙の人

今号の表紙は、名寄市智恵文で農業を営んでいる松下祐司さん一家です。

(右から)  
(父) 良行さん  
祐司さん

(妻) 奈保子さん  
(母) 扶美子さん  
都合により写真には写っていませんが、  
(祖母) 和子さん

の5人家族です。  
(主な作付品目) スイート  
コーン・甜菜・馬鈴薯・南  
瓜



## 平成28年度 名寄市農業担い手交流会開催

11月29日、グランドホテル藤花にて名寄市農業担い手交流会が開催され、加藤名寄市長や中島代表理事組合長のほか、新規就農者や若手農業者など多数が出席しました。

近年、日本では農家戸数の減少や農業者の高齢化などで経営の担い手不足が進み、優れた担い手の育成及び確保は農業の発展だけでなく地域社会の活性化を図る上で重要な課題です。名寄市は農業が基幹産業でもあり同様の課題を抱えているため、若い農業担い手や新規就農者の農業経営や地域活動を一層助長しようと、毎年交流会を開催しています。

本年度、新規就農者12名（風連地区6名、名寄地区3名、智恵文地区3名）の内、出席者8名の方々には中島代表理事組合長よりそれぞれに激励状が手渡されました。新規就農者はそれぞれ抱負を述べ「まだまだ経験は浅いが、担い手として地域に貢献したい」と意欲を語られました。

講演の部では、当地区の先輩農

業者として風連地区でうるち米生産組合の組合長である今村芳彦氏による「気になる種の育て方」の講演が行われ、テーマに沿って熱

く語られる中、新規就農者のみならず熱心に話を聞く方々も多数見られました。



# 道北なよろ農協青年部 創立10周年記念式典及び祝賀会

11月23日、道北なよろ農協青年部創立10周年を祝し、グラントホテル藤花にて記念式典及び祝賀会が開催されました。

風連、名寄、智恵文の青年部員やOB、農協役員や各関係機関の来賓の方々など100名程の出席者によって行われた記念式典では、実行委員長である永井健一氏の式辞から始まり、道北なよろ農協代表理事専務の東野秀樹様、名寄市長の加藤剛士様、北海道議会議員の中野秀敏様のご祝辞を賜りました。また、感謝状の授与と記念品の贈呈も行われ、受賞者を代表して初代の部長である鷺見悦朗様から謝辞を賜りました。

祝賀会では、道北なよろ農協青年部現部長の山口耕平氏の祝杯から始まり、祝賀会の最後にはJA上川地区青年部協議会会長である北野裕介様のガンバロー三唱なども行われ、盛会のうちに終了となりました。



## JAグループかみかわ

## 秋の大収穫祭2016

10月10日、道北地域旭川地場産業振興センターにおいて、主催団体である上川地区農協組合長会と青年部、女性部共催によるJAグループかみかわ秋の大収穫祭2016が開催されました。

上川管内の13JAにより農畜産物や加工品販売の他、南瓜のランタン作りをするワークショップ、女性部による上川管内の農畜産物を使用した「かみかわカレー」の販売、野菜の詰め放題などが行われ、当JAの販売ブースでは新米のもち米、道北なよろ産のもち米

を使用した「いかめし」や「大福もち」、「きびだんご」の他、南瓜や百合根などの青果物の販売も行

いました。

また、「おにぎりをみんなで握っ

てギネスに挑戦!!」では、1000g以上のご飯に具を入れて5分以内に1人1個のおにぎりを仕上げることが条件の中、1、273人が成功し、見事ギネス世界記録を更新しました。(10月10日現在の記録。)



# みんなのよい食JA親善大使 サッカー・食育教室を開催

9月4日、北海道フットボールクラブとJAグループ北海道、上川総合振興局、JA道北なよるとの連携事業の一環として、北海道コンサドーレ札幌の選手らによる食育イベントとサッカー教室が名寄市健康の森多目的コートで行われ、地元サッカー少年団などに通う小学校4〜6年生37人が汗を流しました。

このイベントは、北海道コンサドーレ札幌の選手がJA親善大使として全道各地を訪れ、サッカー教室や選手によ



るトークショーを通して食事の大切さや食べ物の美味しさ、自分たちが住んでいる地域の農業の役割を再認識してもらう取り組みで、7年目を迎えた今年は全道5会場で一斉に開催されました。



名寄にはG K金山隼樹選手とD F菊地直哉選手が訪問され、サッカー教室では金濱コーチが中心と



なってパス練習やシュート練習、ミニゲームを行いました。

また、サッカー教室終了後には上川総合振興局から食育に関するクイズのコーナーが行われた後、昼食は地元の農畜産物を使ったお弁当を各家庭で作って持ち寄り、コンサドーレの選手と一緒に味わいました。参加した子供たちはプロの選手とサッカーをする喜びと食の大切さを学び、サッカー教室は終了しました。



# 地区別懇談会開催

12月7日・8日の2日間、地区別懇談会が風連・名寄・智恵文各地区で開催されました。はじめに中島組合長より今年

の農作物の作柄と農業情勢等の報告があり、次いで各部から今年度の主な事業等についての報告、組合員の方々から

の様々なご意見・ご質問を頂きました。



# 11月23日「赤飯の日」イベント

11月23日、名寄市内の4会場（イオン・西條・道の駅・よろーな）において、赤飯の日イベントが行われました。

もち米の消費拡大の一環として、赤飯文化啓発協会が推進する「お赤飯の日」を産地においても広く啓蒙普及させる為、11月23日に赤飯の配布・パンフレット配布を行

うイベントであり、名寄市もち米生産組合の事業として今年で4年目を迎えます。

当日のイベントでは各会場に分かれて赤飯と啓発資材パンフレットの無料配布を行い、中でもミス北海道米が参加したイオン会場ではたくさんのお客さんが訪れ、大変な賑わいをみせておりました。



# コーン菜組合道外市場視察

7月28日～30日、JA道北なよろコーン菜組合による道外市場視察が行われました。



今回訪問した市場は京都青果合同(株)、東京豊島青果、横浜丸中青果、東京青果の4社で視察訪問の目的は販売状況及び他産地の販売状況を自ら確認し、良品出荷に向けての情報交換を行いました。

京都青果合同(株)では長野・愛知・茨城県産を入荷販売しており、8月に入り県産の産地が切りあがっているの得益前の出荷にて評価の高い名寄産の



コーン売場を確保したいとの事で、一刻も早くの出荷要望を受けました。  
東京豊島青果、横浜丸中青果、東京青果では、現況について前進傾向であり、名寄産のスイー

トコーンは各市場とも評価が高く、早期出荷のご要望をいただくなど、好評を得ているとのことでした。

## 食用馬鈴薯部会 道外視察 及び市場販売協議

11月16日～20日、JA道北なよろ食用馬鈴薯部会による視察及び市場販売協議が行われました。

(株)アクティブでは加工南瓜についての協議が行われ、近年においては品質がかなり上がり安心して使用できるとの事で、来年度以降増量を希望しているとの事でした。

市場協議においては名古屋青果、水戸中央青果、ベジフル、和歌山青果と馬鈴薯についての市場協議を行い、本



年度については智恵文馬鈴薯施設の選果場の更新により、土の付着が大幅に減った事と、段ボールの品種による色分けを行い品種別に見やすくなった事について好評を受けました。また、どの市場も希望料の7割程度の入荷となっている事から、出荷の増量を依頼されました。

## 南瓜部会試食宣伝販売促進活動

9月2日～4日、JA道北なよろ南瓜部会による市場との情報交換及び販売促進活動が行われました。

今回の訪問先は東京(豊島青果)会議及び着荷確認と販促でスーパーマルト日立SC森山店と元吉田店を訪問しました。

情報交換については、販売状況の確認の他に、産地情勢の報告と今後の出荷の見通しを協議してきました。北海道の台風による被害のニュースが多く、



報道されており、野菜が高騰しているイメージが付いている、各品目数量を正確に把握して販売していかなければ、消費が鈍り、単価安になる可能性があるとの事でした。

また、セブン向けを中心にカット等の一次加工を行っているホクレン関東野菜センター(BM品出荷先)での協議では、本年については馬鈴薯が少なく原料供給的に不安があるが、販売については順調との事で、きたかむいのBM品についても今後力を入れて取扱を増やしていきたいとの事でした。

市場の情勢報告については北海道の出荷が遅れた事が要因となり、8月下旬～9月上旬まで2,000円～2,500円/ケースの相場となり、9月12日より1,800円～2,000円体制も考えられるとの事でした。また、9月中旬以降の販売については2,000円～1,600円の販売となり、高値で売場面積が縮小されているので、数量が増加すると暴落の危険性があり、先行の下げで売れる体制をつくること



が必要となるとの事でした。さらに、9月シルバークの低迷と、月末から消費が鈍る予想であり、各市場週3回の出荷を希望しているとの事でした。

## 第38回なよろ産業まつり開催

8月21日、「第38回なよろ産業まつり」ももち米日本一フェスタがなよろ健康の森特設会場で開催されました。38回目を迎えた今年は昨年と同様の約7千人の来場者が会場に足を運びました。今年の産業まつりの内容としては、もち米作付面積日本一をアピールするもち関連イベントのみならず、地元の新鮮野菜や果物、花卉をはじめとする各販売コーナーにもより一層力が入り、多くの来場者が家族や友人たちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

名寄市やJA道北なよろで組織する実行委員会が主催となり、午前9時半からの開会式からステージ前には多くの来場者が集まりました。加藤市長の挨拶の後、風連御料太鼓保存会の勇壮な太鼓演奏で開幕致しました。続いて、恒例の人気企画となっている豪華景品が当たる懸賞付餅まきや、10代目もち大使の称号を懸けて戦う「なよろもちつきチャンピオン決定戦」等様々なイベントが行われました。

会場では、こちらも恒例のトントコーナー、農業機械展示コー

ナー、もちつき体験コーナー、赤福・きびだんごの販売等の多彩な催しが行われました。また、午後からは5本の綱のうち3本を自陣に運んだチームの勝ちとする、チーム対抗の「五色綱引き」がJA道北なよろ青年部の主催で行わ

れて、各チームが賞金を狙って汗を流し、観衆からは大きな声援が送られていました。今年も会場には多くの来場者が訪れ、楽しいイベントに笑顔を輝かせながら大盛況のうちに幕を閉じました。



# 2016地産地消フェアinなよろ

11月12日、2016地産地消フェアinなよろが名寄市民文化センターで開催され、多くの名寄市民が来場し賑わいました。

会場では様々なイベントが催され、名寄市の基幹産業である農業や、大きく注目を集める地産地消に対する理解を深めました。販売コーナーでは新鮮な農産物やそれらを加工した商品が販売されたほか、牛乳・牛肉・豚肉の特別価格限定販売、746煮込みジンギスカン艦隊によるご当地グルメ「なよろ煮込みジンギスカン」販売、手打ちそば愛好会によるそば打ち実演と販売も人気を集めました。

また、智恵文の野菜をおいしく味わえるメニューとして、ちえぶん旬菜が作る「いもだんご汁」をレシピ付で販売し、地産地消の推進に繋がりました。イベントの最後には、10代目なよろ

もち大使によるこどももちつきが開催され、参加したこどもたちはJA女性部が作る「きなこもち」がプレゼントとして手渡されるなど、盛況のうちに終了しました。

10代目なよろ





# 平成28年度 JA道北名寄女性部視察研修に参加して

智恵文支部副支部長 北野 ひろみ

平成28年11月17日から18日の2日間、女性部員32名、事務局2名の計32名で北広島、小樽、浦臼町へと視察に行きました。

まずは「くるるの杜」です。私はテレビやラジオで知っていたのですが、実際に行ったのは初めてでした。ここでは、農作業体験、調理加工体験、農畜産物直売所、そして食べることを通じて消費者と生産者をつなぐ役割をしている農村レストランの経営がされています。昼食もこちらで頂きましたが、野菜中心でとても優しい味付けで子供連れのお客様がたくさん来ていたのにも驚かされました。少しでも農業に関心を持ってもらえる場としては素晴らしいと感じました。

次に向かったのは、小樽で吹きガラス体験です。みんな「一度はやってみたかった!」という人達ばかりで、グラスや花瓶を汗を流しながら真剣に吹いている姿を思い出します。後日送られてくる作品を、みんな楽しみに待っていました。

2日目は浦臼町にある神内

ファーム21を視察しました。私が一番驚いたのは規模の大きさです。浦臼町、洞爺湖町2ヶ所、豊浦町、伊達市、長万部町の計6ヶ所。現在の総面積2千ha。平成9年8月設立当時には、資本金1億円、6

百haから始めたそうです。

創設者の神内良一さんは、小作農の三男として生まれ、学費援助を受け香川県立木田農業学校在籍中に援農動員で北海道に来て以来、壮大な大地にあらがれ北海道で農業をしたいと思ったそうです。昭和21年に十勝の開拓実習訓練所へ応募するもその思いを遂げることができず、農業から一時離れて戦災孤児の福祉施設奉職をへて資金調達のためプロミスを立ち上げ、メガバンクと提携。南太平洋諸国

の支援事業に着手したそうですが、夢をあきらめきれず平成9年に70歳で設立。

「克冬制夏」1年間を通して安定生産。赤毛肉牛を中心にハウスではマンゴー、パッションフルーツ、アボカド、白桃、ぶどう、柿などを生産。神内ファーム21は、昭和21年の思いと21世紀型という意味があるそうです。同じ農業者として、「すごい」の一言と圧倒されて帰ってきました。

各支部の方々との交流と研修はとても有意義な2日間でした。



## ～名寄市農業振興センターからのお知らせ～

### 平成28年度 名寄市農業振興センター事業報告について

#### ○大豆・小豆資材効果試験及び大豆品種比較試験

- ・優良根粒菌の着生促進資材による収量性調査を実施しました。
- ・大豆播種日5/26 小豆播種日5/24  
大豆(ユキホマレ):対照区319kg/10a 資材区322kg/10a (101%)  
小豆(しゅまり):対照区192kg/10a 資材区245kg/10a (128%)
- ・大豆の品種別収量調査として、2品種の比較試験を実施しました。
- ・播種日 5/26  
ユキホマレ:収量319kg/10a 主莖長75.5cm  
とよみづき:収量345kg/10a (108%) 主莖長75.8cm



大豆の生育状況(7月23日)

#### ○薬用作物(カノコソウ)の栽培試験

- ・生産面積が徐々に増加している薬用作物「カノコソウ」について、栽培法による収量比較試験を実施いたしました。
- ・移植直後の干ばつとその後の低温・多雨の影響により生育の停滞が見られましたが、後半に概ね持ち直しました。
- ・栽植密度試験: 密植区として慣行区の約1.3倍の株数を定植し、収量対比135%となった。  
圃場が小さい場合有効な方策と思われます。
- ・機械移植試験: ポット移植機を使用し高畦マルチに定植。  
機械の設定上栽植密度が減少し、1株重は増加しましたが反収は約3割減となりました。



マルチ栽培試験(初期生育が安定)

#### ○南瓜のつる枯れ病対策試験(上川農試との連携試験)

- ・南瓜産地で、キュアリング・出荷後に腐敗が発生し問題となっている「かぼちゃつる枯れ病」につきまして、対策検討試験を実施いたしました。
- ・実際に病原菌を接種し、病徴の様子や収穫前の処理による腐敗果数の調査などを実施しております。来年度についても同病害についての試験を実施予定です。



つる枯れ病の発生株

#### ○「水稻直播栽培研究講座」の開催

- ・水稻直播栽培の技術紹介、情報共有の場として、7月に上記の講座を実施いたしました。
- ・市内で直播栽培を実施している圃場のうち3箇所を巡回し、品種による比較や、数種の播種機を使用した栽培比較、また飼料米の供給を目的とした栽培など、特徴のある圃場を視察いたしました。
- ・最後に当センターの圃場を紹介し、はくちょう、きたゆき、きたふくもちの品種比較、はくちょうもちでの播種法比較(播種量減、乾もみ播種)などの栽培試験状況を視察いただきました。



直播栽培圃場視察の様子

## その他の主な試験実施状況

作物・事業名	目的・試験内容等	実施状況・結果等（抜粋）
水 稲	直播の適応性の検討(乾田方式) 品種：はくちょう、きたゆき、 きたふくもち	はくちょう催芽12kg播種区：播種5/21 発芽期6/6 出穂期8/16 (対照区) 収量 521kg/10a はくちょう乾もみ区：収量 476kg/10a (対照区対比91%)
薬用作物	カノコソウ栽培法の検討	栽植密度：密植区として約1.3倍の株数を定植～対照区対比収量135% (H27試験時：同区の対照区対比122%) 機械定植：ポット移植機を使用し高畦マルチに定植～栽植密度が慣行の 半分程度となり、1株重は増加したが反収は35%減。
	カノコソウ種苗供給 優良種苗の供給	名寄市薬用作物研究会員対象に6,500株(3戸)を供給。 現在H29年度春に4戸・9,000株供給予定。 うち新規作付者を1戸・1,500株含む。
ミニトマト	名寄地域におけるミニトマトの 栽培法の検討 品種：純あま	全国の産地と比較し、収量面で低い数値だが、食味の評価が非常に高い。 今後は収量確保の対策が必要。 温度管理・施肥量に対する感応性が高いと思われる。
食用ユリ	定植時期による肥大性の検討 ウイルスフリー苗の定植時期に よる上位規格比率の調査	上位規格比率の増加を目的とし定植を半年前倒しして生育比較を行う。 H28秋に約2000球を定植。H30秋に出荷予定。
ハウレン草 小 松 菜	冬季の農業収入確保として、パ イプハウスを活用し無加温栽培 による収量性、品質を調査	ハウレンソウ・小松菜について冬期ハウス無加温栽培試験を実施。 品種 ハウレンソウ：朝霧7・冬霧7・雪美菜02・W755 小松菜：よかった菜・あっちゃん

- ・上記の他にも、上川農業試験場と協力した  
水稻、春小麦の調査や、農業資材の実証展示など  
各種試験を実施いたしました。  
ご興味のある方はお問い合わせください。



〈寒じめ法蓮草〉

### 【平成29年度の主な実施予定試験（一部抜粋）】

- 水 稲：疎植栽培試験 ～ 一戸当たり栽培面積の増加、温暖化などへの対応として
- 南 瓜：つる枯れ病対策【継続】 ～ 病害発生茎葉のすき込みによる病害発生調査等  
栽培法・品種の検討 ～ 生産量・品質向上を目的（品種・栽培法）
- 薬用作物：除草剤登録拡大試験 ～ 薬用作物の栽培省力化を目指した農薬試験実施
- ICT農業への取り組み ～ 近年注目されているICT（情報通信技術）を用いた当地での農業  
分野への利用についての調査（スマートハウス化等）

○上記の他にも各種試験を実施しております。

お問い合わせ・ご質問等は下記までお気軽にどうぞ。

名寄市農業振興センター 名寄市風連町緑町396-2 TEL01655-3-2258

## 名寄市薬用作物研究会・カノコソウ生産組合からのお知らせ

名寄市薬用作物研究会は、農業者18戸と関係機関が集まり、平成25年4月に設立され、今年で4年目を迎えました。

研究会では「カノコソウ」を栽培品目として選定し、情報の収集と共有、生産技術の向上、販路の確保について、関係機関とも協力しながら講習会などを実施して活動してきました。

活動開始1年目はカノコソウの試験栽培と、種となる株の増殖から始め、2年目に生産希望者圃場での親株増殖、そして3年目（平成27年度）より本格出荷を開始いたしました。

現在は実需メーカーと契約栽培を行っており、販路もしっかり確保されています。

また本格出荷となった平成27年4月に、作付生産者を中心に「カノコソウ生産組合」を設立し、カノコソウの栽培・出荷・機械の管理などの活動を行っています。

### 改めて

### ～カノコソウとは～

- オミナエシ科カノコソウ属の多年生草本。
- 国内の山地に自生する植物です。
- 効能～鎮静薬として、神経過敏や睡眠薬などに用います。
- 生薬としては地下部（根）を使います。



使うのはココ！

### 《省力化への取り組み》

薬草栽培は栽培体系が確立されておらず、管理・収穫・調整等に手作業が大変多く、生産量の増加の妨げとなっていました。カノコソウの産地を目指すため、栽培の体系化と省力化への取り組みを行ってきております。

- 除草作業の軽減 ⇒ 除草剤の登録（マイナー作物農薬登録制度・現在2剤）
- 洗浄作業の軽減 ⇒ 洗浄の機械化（実需メーカーと協力した試作機開発）
- 乾燥作業の時間短縮 ⇒ 乾燥機の導入（食品乾燥機導入、品質の平準化）

これらの取組により生産体系が効率化された事で作業時間が減少し、栽培面積は増加してきています。（右図参照）

薬草栽培が農家経営の1つの柱となり、名寄が生薬原料の産地として認知されることを目指し、今後も活動を続けてまいります。

### 【カノコソウ栽培戸数と栽培面積推移】

	H25	H26	H27	H28
栽培戸数（戸）	1	12	13	14
栽培面積（a）	24	142	183	203

## 新規栽培希望者を募集しております！

あなたも薬草栽培にチャレンジしませんか？ カノコソウは苗定植後1年で収穫でき、単価も比較的高く、小さな面積でも栽培が可能です。作業は効率化が進んでいるとはいえ他の作物と比べて手はかかりますが、条件が合えば高反収の期待できる魅力のある作物です。興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：

名寄市農業振興センター (TEL 01655-3-2258)  
 JA道北なよろ 営農センター青果課 (TEL 01654-3-4307)

## 平成29年度経営体育成支援事業について

この経営体育成支援事業は、人・農地プランに位置付けられた担い手（認定農業者等）が、農業機械・施設の導入等を行なう場合に、取得に要する費用の3割を助成する事業です。平成29年度も実施が見込まれるため、希望される方は申請の準備をお願いします。

事業の実施にあたっては、金融機関の融資を活用し、農業機械等を取得する場合に、取得に要する経費から融資等の額を除いた自己負担分に対して補助されるものです。申請条件としては、別記1の個別配分基準において5点以上取れる方で、別記2の成果目標を設定し、原則3年以内に目標達成する必要があります。なお、ポイント採択制であることから、希望すれば必ず受けられる事業ではありません。

### ○助成対象となる事業内容

(1) 農産物の生産、加工、流通、販売その他農業経営の開始若しくは改善に必要な機械又は施設の改良、造成、復旧若しくは取得。

※残存耐用年数がおおむね5年以上20年以下のもの（中古農業用機械である場合には2年以上）。

原則として、パソコン・運搬用トラック・倉庫等農業経営の用途以外の用途に容易に供されるような汎用性の高いものでないこと。

(2) 農地等の改良、造成又は復旧。

(3) 個々の事業内容について、単年度で完了すること。

(4) 事業費が整備内容ごとに50万円以上であること。

### ○助成対象者

適切な人・農地プランに位置付けられた中心経営体等

※新規就農者は、認定新規就農者又は認定農業者に限ります。

### ○補助率

取得に要する経費の3/10以内です。

### ○上限額（予定）

1 経営体当たり300万円

### ○事業の要望調査について

北海道からの募集案内が例年2月上旬に行われます。日程が決まりましたら改めてお知らせします。

別記1【配分基準項目】※5点以上取れる方が対象になります。

	取組の内容	点数
①経営面積の拡大	事業実施前3年度内に経営面積の拡大に取組み、3年前より経営面積が拡大しており、アからウまでのいずれかの取組に該当している。	
	ア 農地中間管理機構から賃借権等の設定等を受けている。又は目標年度に現状より4ha以上の経営面積の拡大を行うこととしている。	1経営体につき3点
	イ 目標年度に現状より2ha以上の経営面積の拡大を行うこととしている。	1経営体につき2点
	ウ 上記ア及びイに該当しない経営体で、目標年度に現状より経営面積の拡大を行うこととしている。	1経営体につき1点
②耕作放棄地の解消	事業実施前3年度内に、それまで過去1年以上作付けが行われていない農地を対象として、所有権の移転又は使用貸借等を行い、現在、当該農地を活用している。	1経営体につき1点
③農業の6次産業化	自らが農産物（その過半が当該事業実施地区内で生産されたものに限る。）の加工、直売若しくは契約栽培等の拡大に取り組み、又は事業分野が異なる法人等と契約等により事業の連携関係を構築している。若しくは、事業実施前3年度内に自らが農産物（その過半が当該事業実施地区内で生産されたものに限る。）の輸出に取り組んでいる（他者との連携による取組を含む）。	1経営体につき1点
④農産物の高付加価値化	事業実施前3年度内に農産物の生産において、新品種の導入、栽培及び管理技術の改善等により品質向上等農産物の付加価値の向上に取り組んでいる。	1経営体につき1点
⑤農業経営の複合化	土地利用型作物の生産、園芸作物の生産、畜産経営などを組み合わせ、複合的に経営を展開している。	1経営体につき1点
⑥経営コストの縮減	事業実施前3年度内に作業の効率化、単収の向上、生産資材の効率的利用、経営管理費の削減等により、コストの削減に取り組んでいる。	1経営体につき1点
⑦農業経営の法人化	現在、法人化している。	1経営体につき2点
⑧雇用	外部から常時雇用している。なお、臨時雇用は、事業実施前1年度内の雇用者について延べ240人・日を常時雇用として算定する（小数点以下第1位まで求める（小数点第2位以下は切り捨て）。）。	1経営体につき1点 ※内容により加点有
⑨新規就農	事業実施年度に就農する者又は就農後5年度以内の者である。ただし、認定新規就農者又は認定農業者である場合に限る。	1経営体につき2点 ※内容により加点有
⑩農業者の育成	農業研修生（国内で農業を生業とする予定の者に限り、外国人技能実習制度に基づく者を除く。）を受け入れている。	1経営体につき1点 ※内容により加点有
⑪女性の取組	次のいずれかの取組である。 ア 女性農業者（自らが農業経営を行っている又は部門間で区分経理を行っている場合に当該部門の責任者である者） イ 代表者が女性であるか、役員若しくは構成員のうち女性が過半である法人又は任意組織	1経営体につき3点

## 別記2【成果目標項目・選択目標】

※必須目標と選択目標から1項目ずつ若しくは必須項目から2項目を設定する。

選 択 目 標 (事業実施年度の翌々年度の姿)	
必須目標	
①経営面積の拡大	利用権の設定等又は農作業の受託をして支援計画策定時点より経営面積の拡大を行う。
②農業の6次産業化	自らが農産物（その過半が当該事業実施地区内で生産されたものに限る。）の加工、直売若しくは契約栽培等の拡大に取り組み、又は事業分野が異なる法人等と契約等により事業の連携関係を構築する。又は農産物（その過半が自ら生産する農産物に限る。）の輸出に取り組み（他者との連携を含む）。
③農産物の高付加価値化	農産物の生産において、新品種の導入、栽培及び管理技術の改善等により品質向上等農産物の付加価値向上に取り組み。
④経営コストの縮減	栽培及び管理技術の改善、作業の効率化、単収の向上、生産資材の効率利用等により経営コスト（農産物の生産・加工・流通・その他経営にかかるコストを含む）の縮減に取り組み。
選択目標	
⑤耕作放棄地の解消	過去1年間以上作付けが行われていない農地を対象として、所有権の移転又は使用貸借等により現状より概ね30a以上経営面積の拡大を行う。
⑥農業経営の複合化	土地利用型作物の生産、園芸作物の生産、畜産経営などを組み合わせ、複合的な農業経営の展開に取り組み。
⑦農業経営の法人化	目標年度までに法人化する。
⑧雇用	外部からの常時雇用の増加に取り組み。

※上記の配分基準項目と成果目標項目は平成28年度事業で使用したものであり、平成29年度事業において項目の修正があるかもしれませんのでご注意ください。

## お問い合わせ

名寄市役所風連庁舎 農務課 農政係

TEL 01655-3-2511

JA道北なよろ 本所 営農課

TEL 01655-3-2521

# 平成28年度 外国人技能実習生修了式

平成28年10月27日、智恵文多目的研修センターにて平成28年度外国人技能実習生修了式が行われました。59名の実習生が修了式を迎え、酪農の実習生以外の実習生は4月からの7ヶ月間の農業実習を終え、10月29日に元気に帰国しました。

平成28年4月3日に来日し、日本で農業の知識・技術を学びながら日本語の勉強や日本の文化、地域との交流などの実習も行っていました。

修了式では、JA道北なよろ中島代表理事組合長と名寄市川田経



済部長のあいさつの後、実習生を代表して劉 東（リュウ ドン）氏は、実習の感想を日本語で発表しました。



# 風連地区でうるち米初出荷

9月23日、JA道北なよろ農産物検査場にて、風連地区の28年度産うるち米の初出荷が行われました。JA道北なよろ東野代表理事専務や、関係者多数が見守る中、風連地区西風連の高橋勝征さんが丹精込めて育てた60俵のお米（ゆめぴりか）は北海道米麦改良協会によって検査が行われました。検

査の結果見事全量1等米となり、等級と検査印が押印され初出荷した生産者には関係者から記念品が贈られました。



## ICT農業研究会設立総会

9月12日、ICT農業研究会設立総会が営農センターで行われました。

近年名寄市においても農家戸数の減少に伴う耕作面積の規模拡大が年々進んでおり、機械作業の省力化・作業時間の短縮・経営コストの低減等が課題となっており、そうした課題を解決すべく、人工衛星から測位した精度の高い位置情報を利用したGPSガイダンスシステムを活用していく上では、GPS受信基地局の設置やGPSガイダンス機器の導入等の環境整



備が必要となることから、今回新たに研究会を設立することになりました。

会員36名中23名出席した今総会では、基地局導入に向けた研修会を実施するなどの事業計画が承認されました。

役員構成は次の通りです。

会長 清水 功裕  
 副会長 藤森 将二  
 副会長 佐竹 直人  
 会計 花井 信雄  
 監事 廣島 俊一  
 監事 松本 和俊



## RTK基準局設置に係る講習会

11月8日、RTK基準局設置に係る講習会が営農センターにて開催されました。

講習会では、基準局設置について株式会社ティンバーテックの澤谷啓一郎氏を講師として迎え、補正データの配信方法やランニングコスト等の説明を受けました。また、基準局設置後の運営について



は農機具メーカー4社を講師として迎え、各社それぞれの取組事例や取扱機械への取り付け等の説明を受けました。

また、会の最後には基地局設置についての意見交換が行われ、設置に向けての意見集約をして講習会は終了しました。



# 風連中央小4・5年児童が稲刈り体験

9月26日、名寄市風連中央小学校4年生児童による稲刈り体験が、風連地区の大谷繁樹さん宅の圃場にて行われました。

稲刈り体験は4年生の授業としては初めての試みで、今年度はもち米について田植えから稲刈りまで学ぼうと計画しているもので、6月7日に田植を行い、「もち米」は「くちょう」の栽培に取り組んできました。

また、9月29日には名寄市風連中央小学校5年生児童による稲刈り体験が、風連地区の上口忠さん

宅の圃場にて行われました。

毎年、5年生児童は田植えから稲刈りまで学ぼうと計画しており、今年度も地域で農業を営んでいる上口さんから圃場の一部を借り、5月29日に田植えを行い、うるち米「ななつぼし」の栽培に取り組んできました。

4年生と5年生のどちらの児童も額に汗を渗ませながら稲刈り作業に当たり、食物づくりの喜びや苦労を味わいました。



上口宅稲刈り



大谷宅稲刈り



## JA北海道厚生連のお得なキャンペーン

対象商品3,000円(税込)毎のご購入で応募葉書をお渡し致します

毎月20名  
合計120名

### 北海道のおいしい幸せプレゼント

抽選で北海道のおいしい食品満載のホクレンギフトカタログをお届けします。野菜、お米、お肉、加工食品、乳製品、水産物、麺類、お花など豊富なギフトの中からお選びいただけます。

選べる  
カタログ



**キャンペーン期間** 平成28年10月1日～平成29年3月31日

**応募方法** キャンペーン期間中対象商品のご購入3,000円(税込)毎に応募葉書を配置薬推進員よりお渡し致します。葉書にご住所、ご氏名、電話番号をご記入のうえ、投函してください。

**抽選方法** キャンペーン期間中の各月毎に、ご応募いただいた葉書を厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。なお、キャンペーン最終月平成29年3月分のご応募は平成29年4月5日消印まで有効とさせていただきます。

**賞品のお届け** 当選者決定後、各月毎に賞品をお届けします。なお、賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。

対象賞品	野菜酵素青汁 青汁に野菜酵素をプラス 3g×31包 2,376円(税込)	草苧譜Ⅱ・Ⅲ 温まってしっとりお肌 1,050g(約42回分) 2,571円(税込)	黒しょうが21世紀 近大サブリの黒しょうが 120粒(約30日分) 4,968円(税込)	青の贅沢 クルルオイル配合 45粒(1日1～3粒) 1,620円(税込)
------	---	---	---	---

商品のお求めは下記の推進員まで

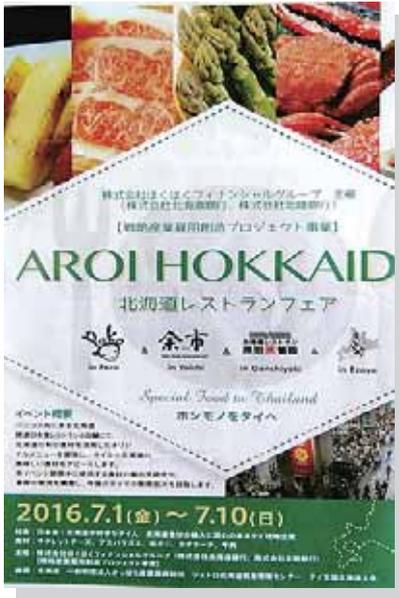
松原 秀幸【本所】：01646-5-4307 渋谷 実【名寄】：0162-82-3108

佐藤 由希子【智恵文】：080-1882-4920

配置薬課 0120-99-4193(受付時間 平日8:30～17:00)

# 営業戦略課 事業報告

日本一のもち米産地をPRするため、農商工連携事業の活用により、株式会社 名寄振興公社ともちりいかめしを商品化しました。いかは函館産でもち米は、名寄産はくちょうもち1等米100% 5月29日より販売を開始し、好評を頂いております。



タイ バンコクで北海道銀行主催の北海道レストランフェアにグリーンアスパラを出荷し、タイ人へ北海道の美味しいアスパラをPRしました。

今後のタイでの販路拡大を目指します。



香港SOGOでアスパラの試食販売を昨年に引き続き行いました。

今後の常設販売を目指します。



東京 杉並区役所前で、6月8～10日に「なよろアスパラまつり」を行い、アスパラ・いかめしを販売。

8月31日～9月2日に「なよろとうもろこしまつり」を行い、とうもろこし・南瓜・いかめしを販売し、それぞれ即完売の大好評でした。



8月18、19日に東京ビックサイトに於いて、アグリフードEXPO2016東京が開催され、当産地のアスパラ・とうもろこし・南瓜等を販路拡大に向け、試食・PRしました。





昨年に引き続き、香港SOGOでとうもろこしの試食販売をしました。  
 香港人はとうもろこしを生で食べる様で、生のままで試食をさせながらの販売で、1本約700円で販売しました。  
 SOGOは2年目ですが、本年新たな店舗としてTasteでも試食販売しました。



札幌市主催、名寄市共催で「卸売キャラバン隊商談会in名寄」が10月18日に札幌市内の卸売業者10社を招き開かれ名寄農産物をPR・売込みをしました。



11月21、22日に沖縄大交易会に参加しました。  
 国内外のバイヤーにアスパラ・とうもろこし・南瓜・百合根・もち米をPRし、輸出に向けた商談を14社と行いました。

# 「けい酸加里」は 品質・収量の向上を サポートします!!



天候不良に負けない作物づくりの為に!!

長〜く効く加里によって、栄養を終盤まで運ぶ!!

—けい酸加里を施用し始めた理由を教えてください。

実は、4年前までは、ケイ酸の補給の為に熔燐を施用していました。しかし、土壌分析の結果を見たらリン酸の値が高かったので、何か他の資材でケイ酸を補給しようと思いました。そこで、けい酸加里を使ってみよう。

—どんな印象をお持ちだったのでしょうか。

タンパクが下がる、整粒が良くなる。収量も向上するといった話を聞いていました。

—施用量と、4年間の感想をお聞かせください。

基肥として、30kg/10aを施用しています。タンパクは低い値をキープし続けていて、特にななつぼしは、収量・品質と向上したのを実感しています。気象条件の悪い年でも安定感があると思いますよ。乳白なども範囲内で収まっています。

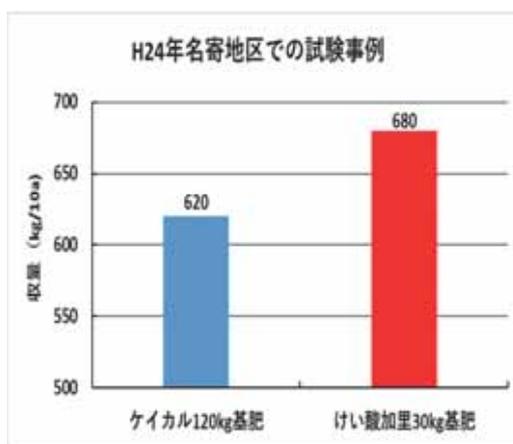
—けい酸加里の施用について、一言お願いします。

ケイカルと比較すると、同じ経費のかけ方でも袋数が少なく、作業の省力化になります。収量や品質の向上に繋がると効果を実感しています。

—上口さん、ありがとうございました。



ゆめびりか、ななつぼしを生産される上口さん。



作業の省力化に貢献します。  
けい酸加里は、秋施用も可能です。

# 『けい酸加里』はお米だけの肥料？ いいえ。畑でも活躍します！！

## 麦への効果～根張りの向上・収量向上～

麦は水稻と同じく、ケイ酸を多く必要とする禾本科（イネ科）の植物です。

ケイ酸を吸収する事で、**茎は固く・根の張りが向上**します！！

また、終盤まで加里を吸収させる事で籽へ養分が運ばれ、収量の向上に貢献します。

この違いが生育の差に出る！



水分・養分の吸収

倒伏の軽減



H23 年 「小麦の根圏確認試験」 写真

施用量の目安：30～40kg/10a

## タマネギへの効果～品質・収量向上～

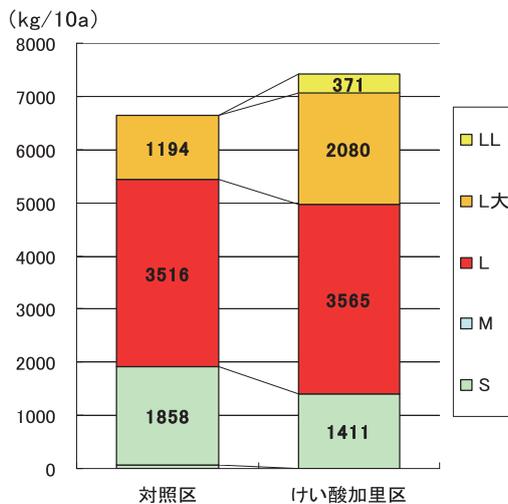
タマネギの生長点は根元の茎盤にあり、根の生育を向上させる「けい酸加里」との相性が良い野菜です。

球に貯えられる養分としては、加里が2番目に多く、

**球肥大に大きく影響します！**

ケイ酸と加里の相互作用によって

**玉しまり・品質・糖度の向上**を見込めます。



収量・品質調査結果  
北海道立花・野菜技術センター 2001年

施用量の目安：40～80kg/10a

お問い合わせは JA 道北なよろ購買課まで

## 理事会の経過

### 第七回理事会

開催日 八月二十九日

- 一、定例監査講評について  
監事報告通り決定
- 二、組合と理事との契約（委託）について  
提案通り決定

### 協議事項

- 一、平成二十九年度外国人技能実習生事業について  
提案通り決定

### 第八回理事会

開催日 九月二十七日

- 一、内部統制規程の一部改正について  
提案通り決定
- 二、特定個人情報取扱規程の一部改正について  
提案通り決定
- 三、安全衛生規程の一部改正について  
提案通り決定
- 四、四、〇〇〇万円超の信用供与に係る貸付承認について  
提案通り決定
- 五、組合と理事との契約（貸付）について  
提案通り決定

### 第九回理事会

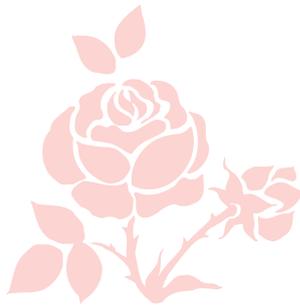
開催日 十月二十八日

- 一、出資金減口の申出について  
提案通り決定

- 二、出資金持分譲渡の申出について  
提案通り決定
- 三、就業規則の一部改正について  
提案通り決定
- 四、自己査定に係る破綻懸念先への貸付について  
提案通り決定
- 五、組合と理事との契約（貸付）について  
提案通り決定
- 六、組合と理事との契約（延払）について  
提案通り決定
- 七、平成二十八年度経営所得安定対策に係る仮渡金対応について  
提案通り決定

### 協議事項

- 一、名寄市に対する要請について  
提案通り決定



## ❀ JAのあゆみ ❀

8月17日～23日

第2・四半期定例監査

29日 第5回営農委員会

29日 第7回定例理事会

9月27日 第4回総務委員会

27日 第8回定例理事会

10月25日 第6回営農委員会

25日 第5回購買委員会

28日 第9回定例理事会

31日 棚卸監査

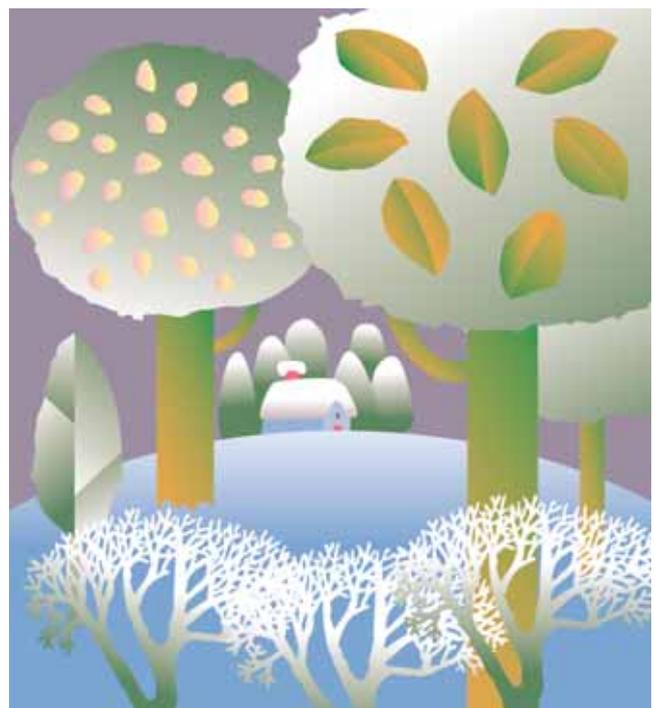
11月15日～18日

第3・四半期定例監査

29日 第5回総務委員会

30日 第7回営農委員会

30日 棚卸監査



# 確実に受け取れる安心 ⊕ 増える楽しみ

豊かな  
セカンドライフへの  
道しるべ

## 予定利率変動型年金共済

# ライフロード

このプランに  
ご加入いただける年齢  
**18-50歳**

平成28年度適用の予定利率

# 1.65%

※平成28年度適用の予定利率であり、毎年見直しされます。

## 契約当初5年間の予定利率0.5%、6年目以降



**1** 年金額の増加が期待でき、一度増加した年金額は減りません  
※予定利率の増減によっては、年金額が増えない場合があります

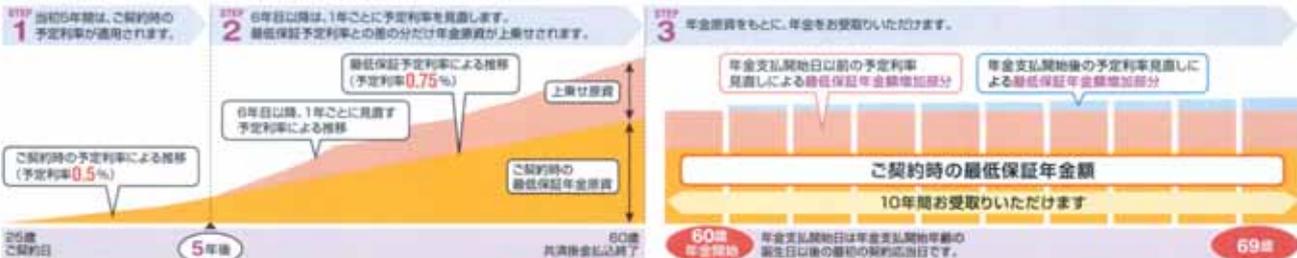
**2** 積立感覚で老後の生活資金が手軽に準備できます  
※共済掛金は月+3,000円からご加入いただけます

**3** 個人年金保険料控除が受けられます  
※所定の条件を満たし、税制優待特約が付いている場合に限りです

**4** 簡単な告知でお申し込みできます  
※ご契約にあたり医師の審査は不要です

### 仕組イメージ

ご契約例 加入年齢:25歳 【主契約】●定期年金タイプ●共済掛金払込終了年齢60歳●年金支払開始年齢60歳●年金支払期間10年 【特約】●指定代理請求特約●税制優待特約【共済掛金】(平成28年4月現在)月払い1万円(払込共済掛金累計額420万円)



## 払込共済掛金累計額 4,200,000円

### 予定利率と年金額

当初5年間の予定利率 **0.5%** 6年目以降の最低保証予定利率 **0.75%**  
この予定利率は、共済掛金の払込方法を年払もしくは月払とした場合の予定利率となります。ご契約時の予定利率は、毎年(共済掛金の払込方法が月払いの場合は毎月)設定されます。したがってご契約期間によって適用される予定利率が異なり、最低保証年金額が変更となる場合がありますので、JAまでご確認ください。

予定利率	60歳時の年金額	年金受取総額
当初5年間の 0.5%	1.65%の場合 平成28年度適用の予定利率	532,580円 5,487,353円
	1.95%の場合 平成28年度適用の予定利率+0.3%	561,003円 5,837,892円

ご契約時の最低保証年金額	60歳時の最低保証年金額	年金受取総額
当初5年間の 0.5%	6年目以降の 0.75%	456,287円 4,562,870円
		456,200円 4,562,000円



## 早くからはじめるほど有利です!!

例:男性 60歳払込終了・60歳年金受取開始・年金支払期間10年・税制優待特約付・共済掛金(月払い)1万円

加入年齢	共済掛金合計	6年目以降の予定利率	共済掛金合計と受取金額の差
30歳	360万円	1.95%の場合	受取金額 476万円 116万円
		0.75%の場合(最低保証)	受取金額 383万円 23万円
35歳	300万円	1.95%の場合	受取金額 378万円 78万円
		0.75%の場合(最低保証)	受取金額 314万円 14万円
40歳	240万円	1.95%の場合	受取金額 289万円 49万円
		0.75%の場合(最低保証)	受取金額 247万円 7万円
45歳	180万円	1.95%の場合	受取金額 209万円 29万円
		0.75%の場合(最低保証)	受取金額 185万円 5万円

**加入した場合の老後**  
公的年金にプラスしてゆとりあるセカンドライフ

**加入しなかった場合の老後**  
毎月毎月赤字でカツカツ、日々の暮らして精一杯...

●お問い合わせは

## JA道北なよろ 共済課

本所 名寄市風連町本町62番地 TEL 01655-3-2521  
名寄支所 名寄市大通南4丁目10番地1 TEL 01654-2-4531  
智恵文支所 名寄市智恵文11線北3番地 TEL 01654-8-2111

詳しくはJAまで  
お気軽に  
お問い合わせください

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」(必ずお読みください)、「重要事項説明書(注意事項)」および「ご契約のしるし(約款)」をお読みください。

# 毎月毎月律儀にこなす クロスワード

1	2		3		4	5		6		7	8	9
10			11	12				13	14			
	15	16		17			18				19	
20			21			22				23		
		24			25				26			27
28	29		30	31			32	33				34
	35	36		37		38		39		40		
41			42			43	44			45	46	
		47			48				49			
50	51		52	53			54	55		56		
	57	58				59					60	
61				62	63			64		65		
66										67		

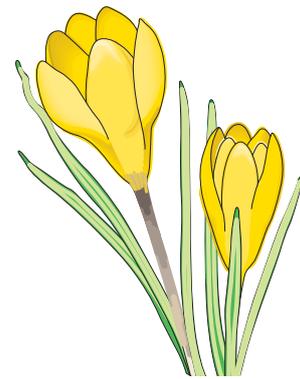
正解者の中から抽選で5名様に  
「商品券」をプレゼント!!

解答は、本誌に添付されたハガキに記入して送付して下さい!  
(FAXでも受付しております)  
01655-3-4037

【応募締め切り・発表】

平成29年2月28日(当日消印有効)  
当選者は次号でお知らせします。

多数のご応募お待ちしております!



(株)マガシン・マガジン  
「クロスワードメイト」より

## 回答欄

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

クロスワードを解きA~Lをつないだ言葉を答えて下さい。

<p>31 毎月維持するのにもお金がか</p> <p>29 ムダな骨折り</p> <p>27 ロシアの強いお酒</p> <p>26 ○○○八方</p> <p>25 つなぎめ</p> <p>23 毎月受けている模擬試験</p> <p>22 メカニズムの略</p> <p>21 毎月日曜は○○○か5日ある</p> <p>20 健康で○○○な子供</p> <p>18 合を見た</p> <p>16 毎月観戦。今月は長州力の試</p> <p>14 3人組</p> <p>12 ナイト</p> <p>9 朝、起きれず遅刻</p> <p>8 食後に使う歯の掃除用の棒</p> <p>7 サラリー</p> <p>6 毎月定期的に会社からもらう</p> <p>5 その道に詳しい</p> <p>4 毎月CDを発売!</p> <p>3 和服のベルト?</p> <p>2 まじめでひたむき</p> <p>1 方などを学ぶ</p>	<p>3 毎月学校に通って記帳のやり</p> <p>2 毎月見合い。絶対するぞ!</p> <p>1 毎月美容院でカット</p>	<p>33 火消しのシンボル</p> <p>36 熱を加える</p> <p>38 「石魚」をパクリ</p> <p>40 五輪をわが市に!</p> <p>41 電気器具から出てる線</p> <p>42 毎月1万円ずつ貯金</p> <p>44 毎月払う授業料</p> <p>46 隠された意味を読む</p> <p>48 サーフアアが毎日乗る</p> <p>49 月の最後の日</p> <p>51 毎月握手会やコンサートに行</p> <p>53 忙しい</p> <p>55 タイムスイッチ</p> <p>56 使用者</p> <p>58 契約金の一部を払う</p> <p>59 電話番号を相手に知らせる</p> <p>61 知り合い</p> <p>63 長崎には多い○○道</p> <p>65 毎月ジムに通って流しています</p> <p>毎月見に行く歴史好き。松本、名古屋、姫路...</p>	<p>かる</p>
--	---	---	-----------

## タテのカギ

# ヨコのカギ

- 1 毎月つけてるけど今月も赤字!
- 4 毎月大学生の子どもに送金
- 7 月の明るい夜
- 10 蝶の好物
- 11 アニバーサリー
- 13 2人の英雄
- 15 昔都がありました
- 17 お母さんと子ども
- 18 毎月行ってスイミング
- 19 京都のお茶の産地
- 20 毎月ジムに通っている。目的は体重減少
- 22 小説「走れ〇〇〇」
- 23 毎月行って森林浴
- 24 甲の下
- 25 毎月忙しくてなかなかとれない疲労
- 26 毎月何かしらこの人に怒られる弟子
- 28 帰る途中
- 30 毎月開いてるミーティング
- 32 毎月の料金が高くて大変。でも今さらガラケーには戻れない
- 34 さかな
- 35 フィルターでこす
- 37 わかりきっている
- 39 毎月〇〇〇信託を購入
- 41 毎月かかる電気やガスの費用はいくら?
- 43 話術で楽しませる芸
- 45 毎月〇〇〇、18日、28日はポイント8倍!
- 47 イント8倍!
- 48 ひとそろいの道具はいくつ? にくむ方!?
- 49 すぐ裏
- 50 ノックして開ける
- 52 和室に敷きつめる
- 54 毎月地方の営業所まで行くなんてサラリーマンは大変だ
- 57 1つに決まっただけで変わらな
- 59 毎月電子マネーに入金
- 60 すべてローマに通ず
- 61 毎月通って茶の湯をさわる
- 62 「真鱈」と書く
- 64 毎月出るのは月刊誌
- 66 毎月社会人が通う教養講座
- 67 家を買ったからこれから毎月の支払いが大変

## 前回のパズルの答え プレゼント当選者

ヨネンゴハトウキョウ

正解者の中から抽選で次の5名の方に商品券を贈ります。(敬省略)

- 巻下 正果(風連)
- 白田 満江(風連)
- 佐藤 初子(名寄)
- 高橋 明(名寄)
- 島田 智美(智恵文)



## 声の広場

「活躍」に期待しております。

◎だんだん寒くなってきた、秋の収穫が近づくとこの季節…天候で左右された日が多かった。今年のお米はどうなっているのかなあ。冬のお休みはこの温泉に行こうかと思案中です…。(笑)夏の疲れを癒しに、子供達との時間も楽しみに♪

風連 新田 ひとみ

☆農作業「苦勞様」でした。子供達との温泉旅行、ぜひ楽しんできてください。

◎長年勤めた農業に終止符を打ち、今年から自家用野菜だけを作って余生を楽しんでいます。50年、頑張ったあ〜。

風連 山崎 トモ子

☆長年の営業、大変「苦勞様」でした。自家用の野菜を作るなど、楽しい時間をお過ごし下さい。

◎広報なよろは毎回楽しみです。働く農業婦人、体を大事に安心安全な食をこれからも宜しくお願いします。

名寄 菅井 陽子

☆お読みになっていただき、ありがとうございます。今後も女性農業者のついでに。今後は女性農業者のついでに。

◎いつも広報とても楽しみに拝見しています！写真がたくさん載っていて、各地区の催し物などの楽しさが伝わってきます！時には自分が写っていることがあり、不意打ちに撮られていることが多いので、普段からキレイにしないと、意識と努力をしています(笑)

智恵文 佐藤 由香

☆お読みいただきありがとうございます。いつもキレイにするという心掛け、見習いたいです。

◎あちらこちらで熊注意の看板が増えましたね。足跡をみると大きいし、こんな近くまで来ているんだとゾッとすることもあります。熊とはまだ遭遇したことはありませんが…したくないですね。皆さんも一人で仕事の時特に注意しましょうね。今年もお仕事お疲れ様でした。

智恵文 松下 克得

☆ここ数年、熊による農作物への被害は後を絶ちませんね。来年の農作業の時も十分に注意して、作業して下さい。

次回からもドンドン投稿をお待ちしています!!

国が支える。安心が大きくなる。

# 農業者年金のご案内

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます(※)。

(※)農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(付加保険料月額400円)への加入も必要となります。

加入者累計  
100,000人  
突破!!  
(1999年度)

## ◎ 農業者年金のメリット ◎

1

### 少子高齢化時代に強い積立方式の年金です

自ら納めた保険料とその運用益(付利)を年金の原資として積み立てていき、この年金原資の額に応じて将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」の年金です。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万円~6万7千円までの間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

2

### 終身年金で80歳までの保証付きです

農業者年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

3

### 公的年金ならではの税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります【なお、民間個人年金の場合は、控除額の上限は5万円(平成24年1月1日以降の保険契約については4万円)です。】

また、保険料の運用益は非課税で、将来受け取る農業者年金は公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば公的年金等の合計額が120万円までは非課税です。

4

### 農業の担い手には、手厚い政策支援(保険料の国庫補助)があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、農業の担い手となる方には国から月額最高1万円の保険料補助があります。

農業者の  
老後生活は  
国民年金  
+  
農業者年金が  
基本じゃな。



保険料の  
国庫補助なんて  
他の年金にはない  
メリットね!

## ◎年末年始の営業のご案内

		12月30日 (金)	12月31日 (土)	1月1日 (日)	1月2日 (月)	1月3日 (火)	1月4日 (水)	1月5日 (木)	1月6日 (金)	1月7日 (土)	
風連本所	金融共済	8:45~ 16:30	休業	休業	休業	休業	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30	平常 通 り 営 業	
	(ATM)	(8:45~ 18:00)	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)		
	スタンド	7:00~ 19:00	7:00~ 18:00	休業	8:00~ 18:00	8:00~ 18:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00		
	(ピット)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 12:00)	(休業)	(休業)	(休業)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 17:30)		
他業務	8:45~ 17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業			
名寄支所	金融共済	8:45~ 16:30	休業	休業	休業	休業	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30		
	(ATM)	(8:45~ 17:00)	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)		
	スタンド	7:00~ 19:00	7:00~ 18:00	休業	8:00~ 18:00	8:00~ 18:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00		
	(ピット)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 12:00)	(休業)	(休業)	(休業)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 17:30)	(8:30~ 17:30)		
他業務	8:45~ 17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業			
智恵文支所	金融共済	8:45~ 16:30	休業	休業	休業	休業	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30	8:45~ 16:30		
	(ATM)	(8:45~ 17:00)	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)	(8:45~ 17:00)		
	スタンド	8:45~ 17:00	休業	休業	休業	休業	8:45~ 12:00	休業	休業		
	他業務	8:45~ 17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業		
営農センター	8:45~ 17:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業			



表示金利の  
適用期間  
平成29年  
1月4日

平成29年  
9月29日

マイカーのことな  
ら  
JAバンクに

# JA マイカーローン

キャンペーン金 年1.70%より  
(平成29年1月4日現在)

年 0.50% 引下げ

固定金利型

年 **1.20%**

下記の **金利引下げ条** を必ずお読みください。



## 金利引下げ条件

- 以下の1~3を満たすお客さまはキャンペーン金利からそれぞれの条件に応じて引下げを行います(1~3の該当項目に関わらず、引下げ幅の上限は最大金利引下げ幅となります)  
店頭標準金利 3.20% キャンペーン金利 1.70%

最大金利引下げ幅 キャンペーン金利から▲0.50%

- JAカードを新規加入または現在お持ちいただいている方  
(キャンペーン金利から▲0.20%)
- ローンカードを新規加入または現在お持ちいただいている方  
(キャンペーン金利から▲0.20%)
- JA自動車共済に新規契約または現在ご契約されている方  
(キャンペーン金利から▲0.20%)

## ご注意ください

- 表示金利は、平成29年1月4日~平成29年9月29日にお申込みいただき、平成29年11月30日までに借入れされた場合の適用金利であり、お借入期間全期間にわたり適用されるものです。
- なお、金融情勢等の変化により、本チラシの表示金利を見直しさせていただきます場合があります。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

※店頭にて返済額の試算を承っております。

※JAマイカーローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。

※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引き上げさせていただきます。

## JAマイカーローンの商品概要

ご利用いただける方 ●お借入れ時の年齢が満18歳以上で最終償還時の年齢が満80歳未満の方  
●前年度税込年収が150万円以上ある方  
(自営業者の方は前年度税引前所得)  
●当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方  
●その他当JAが定める条件を満たす方

お使いみち ●自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪)  
●自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険金)掛金、登録諸費用等)、車検・整備の費用、カー用品の購入費用  
●運転免許の取得費用  
●簡易な車庫建設のための費用(100万円以内)  
●他金融機関・信販会社等自動車ローンの借換資金

お借入金額 ●10万円以上1000万円以内(所要金額の範囲内)

お借入期間 ●6か月以上10年以内

ご返済方法 ●元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方)

担保・保証人 ●担保:不要です。  
●保証:当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。  
別途、保証料が必要となります  
(北海道農業信用基金協会の場合 保証料率:年0.55%)

手数料 ●お借入れの際の事務取扱手数料は不要です。

 **JA道北なよろ**

本所 TEL 01655-3-2521  
名寄支所 TEL 01654-2-4531  
智恵文支所 TEL 01654-8-2111

「JAとの取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となる場合がございます。)